



2月定例会 県議会

下沢代表が代表質問  
新年度予算などを可決

2月17日に開会した2月定例会県議会は、3月16日までの本会議で、総額8757億円余の28年度予算案、長野県手話言語条例案など知事提出の74議案を審議、早期議決済みの2議案と合わせ全76議案を原案どおり可決しました。

会期末の役員改選では、下沢順一郎代表が副議長に選任され、常任委員会構成は別表のとおり決定しました。

会派では、小島前副議長が代表に就任しました。

【下沢議員】最先端産業・技術に目を配り、県内企業発展への手を差し伸べるような体制づくりが必要だ。

【阿部知事】人工知能、ロボット、ナノテクなどさらなるイノベーション、技術革新を加速化していく。

【下沢議員】大北森林組合の補助金は、返済計画をどう立てさせ、どのように返済させていくのか。

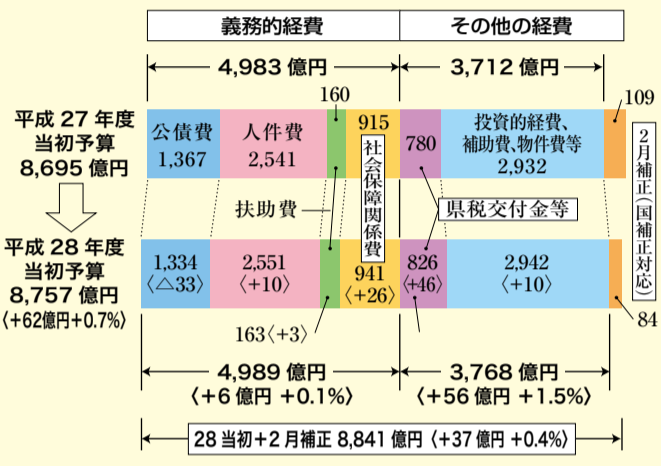
【阿部知事】組合は、元専務の賠償金や役員報酬の返納金を原資として経営再建を行い事業収益を確保し返還するとしている。しっかりと指導していく。

【下沢議員】信州松本空港の国際化への具体策はいかがか。

【阿部知事】一昨年12月から「路線拡充調査」を進めており、観光・ビジネス

平成28年度当初予算の姿

予算総額は、公債費が減少する一方、地方創生総合戦略の施策の具体化、社会資本の重点的な整備に取り組んだほか、社会保障関係費や県税交付金等の増加により、平成27年度当初予算と比べ62億円の増額になりました。



下沢代表が副議長に就任

【阿部知事】この2月には私が座長の「長野県働き方改革・女性活躍推進会議」を立ち上げた。今後「オール信州」で取り組んでいく。



2月定例会県議会で、我が会派の下沢代表が副議長に就任しました。長選挙に立候補し全員の賛成を得て第94代副議長に就任しました。

立候補者の所信表明会で下沢代表は、「しっかりと議長を補佐し公正な県

政運営に邁進する。「これからは県議会です」は、より多くの地域で行いたい。全議員が参加できる決算特別委員会を検討したい。議員による海外研修は、知事とともに信州を宣伝していきたい。「県議会のさらなる活性化をめざす決意を表明しました。」



会派代表 小島康晴

1月26日、東御市中央公民館において「信



州・新風・みらい」による2回目の県政対話集会を開催、東御市民を中心に約200人が参加しました。

県政対話集会 in 東御

東御市区選出の石和大県議司会のもと、下沢順一郎代表のあいさつに続き、当会派の12名の県議が自己紹介を行い、その後、対話形式で行われた意見交換では、予定時間を超え12名の方々から貴重なご発言をいただきました。

「議会改革に取り組んでいる姿が見て取れない」とのご意見に対し高橋宏顧問は「選挙区、定数の見直しなどについて、次の選挙に向けて何らかのアクションが起こせるようしっかりと取り組んでいく」と答えました。

そのほか、大北森林組合補助金の不正受給問題、子どもの性被害防止やネット対策、若者の農業参加への期待などのご意見をいただきました。

今後の県政課題に対して、身の引き締まる思いで臨んでいく覚悟を各議員が再確認させていただく絶好の機会となりました。

常任委員会等構成 (○委員長 ○副委員長)			
総務企画警察	高橋 宏	小島康晴	○石和 大
県民文化健康福祉	竹内久幸	吉川彰一	山岸喜昭
環境産業観光	荒井武志	今井愛郎	
農政林務	小林東一郎	○花岡賢一	
危機管理建設	堀場秀孝	○依田明善	
文教企業	埋橋茂人	○寺沢功希	
議会運営	竹内久幸	○小林東一郎	山岸喜昭
決算特別(内定)	小島康晴	○堀場秀孝	今井愛郎

勢の発展を目指します。会派一丸となって、地域に足を運び、県民の皆様と対話するよう努め、また、不断の議会改革に取り組み、ご支援ご協力をお願いいたします。